

【プレゼンテーション資料】

2008年度第1四半期 連結業績のご説明

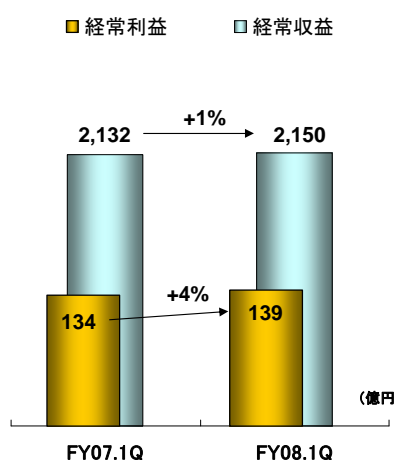
ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
2008年8月13日

免責事項:

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況などに関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しに依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社グループが将来の見通しを見直すとは限りません。また、このプレゼンテーション資料は日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません。

免責事項

連結業績ハイライト



		FY07.1Q	FY08.1Q	前年同期比	
生命保険事業	経常収益	1,939	1,909	▲30	▲2%
	経常利益	122	123	+1	+1%
損害保険事業	経常収益	141	157	+15	+11%
	経常利益	6	4	▲1	▲24%
銀行事業	経常収益	53	86	+32	+61%
	経常利益	5	10	+5	+106%
全社または消去	経常収益	▲3	▲2	+1	-
	経常利益	0	0	+0	+146%
SFHG連結	経常収益	2,132	2,150	+18	+1%
	経常利益	134	139	+5	+4%

金額は単位未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

2

まずはじめに、ソニーフィナンシャルホールディングスグループの連結業績につきましてご報告いたします。

連結経常収益は、前年同期に比べ、1%増加し2,150億円となりました。

各事業の経常収益の状況は、生命保険事業は2%減少し1,909億円、損害保険事業は11%増加し157億円、銀行事業は61%増加し86億円となりました。

次に、連結経常利益は、前年同期に比べ4%増加し139億円となりました。各事業の経常利益の状況は、生命保険事業は1%増加し123億円、損害保険事業は24%減少し4億円、銀行事業は106%増加し10億円となりました。

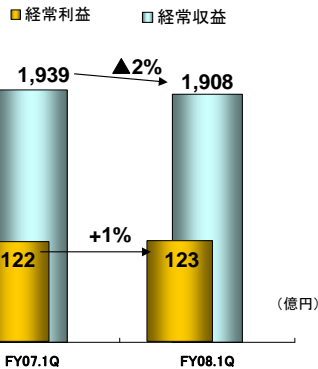
以上の結果、ソニーフィナンシャルホールディングスグループの連結四半期純利益は、経常利益の増加にともない前年同期に比べ7%増加し、78億円となりました。

連結業績ハイライト

- 生命保険事業では、経常収益は保有契約高の堅調な推移により保険料等収入が増加したものの、特別勘定の資産運用益の減少により減収。経常利益は、保険料等収入、利息及び配当金収入は増加したものの有価証券売却益の減少によりほぼ横ばい。
- 損害保険事業では、経常収益は主力の自動車保険の好調により正味収入保険料が増加し増収。経常利益は主に事業費の増加により減益。
- 銀行事業では、業容の順調な拡大にともなって資金運用収益などが増加し、経常収益、経常利益ともに増加。
- 連結経常収益は、前年同期比ほぼ横ばい(1%増加)の2,150億円。経常利益は、前年同期比4%増加の139億円。四半期純利益は、前年同期比7%増加の78億円。

このスライドでは、各事業セグメント毎の業績の要旨をまとめております。

ソニー生命 業績ハイライト(単体)



【ソニー生命】

- ◆前年同期比 減収増益
- ◆新契約高は前年同期比3%増加
- ◆保有契約高の堅調推移により保険料等収入が増加
- ◆資産運用収益は一般勘定の利息および配当金収入が増加
- ◆基礎利益は93億円
- ◆解約・失効率は前年同期比0.03ポイント上昇の1.59%

新契約高、保有契約高、解約・失効率は個人保険と個人年金保険の合計。
解約・失効率は、復活契約を失効と相殺せずに算出。

(億円)	FY07.1Q	FY08.1Q	
		金額	前年同期比
経常収益	1,939	1,908	▲30 ▲2%
保険料等収入	1,581	1,625	+44 +3%
資産運用収益	343	275	▲68 ▲20%
経常費用	1,816	1,785	▲31 ▲2%
保険金等支払金	624	609	▲14 ▲2%
責任準備金等繰入額	899	894	▲4 ▲1%
資産運用費用	46	26	▲19 ▲42%
事業費	223	227	+3 +2%
経常利益	122	123	+0 +1%
四半期純利益	64	70	+6 +9%

(億円)	07.6末	08.3末	08.6末	対前年度末比	
有価証券残高	24,255	23,889	24,283	+393	+2%
責任準備金残高	31,788	33,750	34,626	+875	+3%
純資産額	2,161	1,826	1,687	▲138	▲8%
総資産額	35,225	36,597	37,245	+647	+2%
特別勘定資産	3,489	3,217	3,368	+151	+5%

注)上記数値は単体ベース。

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

4

まず、ソニー生命単体の業績ハイライトについてご説明します。

ソニー生命の経常収益は、保有契約高の順調な増加により保険料等収入は増加したものの、運用環境の悪化により特別勘定の資産運用益が減少したことから、前年同期に比べ2%減少し1,908億円となりました。

経常利益は、保険料等収入や利息・配当金収入は増加したものの、有価証券売却益の減少により123億円となり、前年同期に比べ1%の増加となりました。

保険料等収入は、保有契約高の順調な増加に伴い、前年同期に比べ3%増加し、1,625億円となりました。

資産運用収益は、国債を中心とした有価証券の保有残高の増加等により、利息および配当金収入は増加しましたが、特別勘定の資産運用益及び有価証券売却益の減少により、20%減少し275億円となりました。

一方、資産運用費用は、一般勘定の資産運用費用が減少したため、42%減少し、26億円となりました。この結果、資産運用損益は16%減少し248億円となりました。

保険金等支払金は2%減少し609億円となりました。

事業費は2%増加し227億円となりました。

この結果、四半期純利益は前年同期に比べ9%増加し70億円となりました。

ソニー生命 主要業績指標(単体)



(単位:億円)

	FY07.1Q	FY08.1Q	増減率
新契約高	9,724	10,042	+3%
新契約年換算保険料	158	162	+2%
うち第三分野	34	35	+1%
資産運用損益	297	248	▲16%
基礎利益	70	93	+33%
逆ざや額	81	61	▲25%
解約・失効率	1.56%	1.59%	+0.03pt

	07.6末	08.3末	08.6末	対前年同期末(07.6末)比	
				増減額	増減率
保有契約高	305,922	314,973	318,322	+12,399	+4%
保有契約年換算保険料	5,109	5,300	5,360	+251	+5%
うち第三分野	1,193	1,228	1,236	+42	+4%

*1)新契約高、新契約年換算保険料、保有契約高、保有契約年換算保険料、解約・失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

*2) 解約・失効率は、復活契約を失効と相殺せずに算出しています。

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

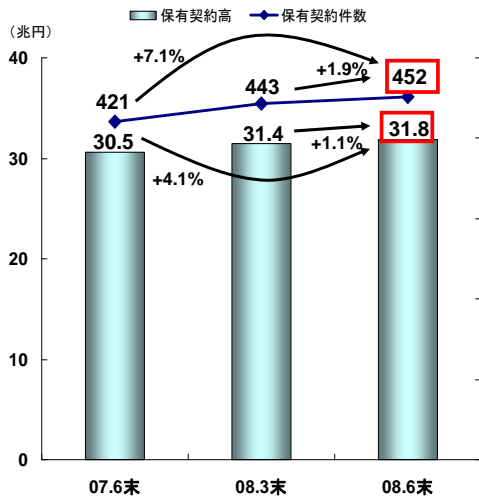
5

ソニー生命の主要業績指標につきましては、このスライドに記載の通りでございます。

これ以降のスライドで詳細をご説明いたします。

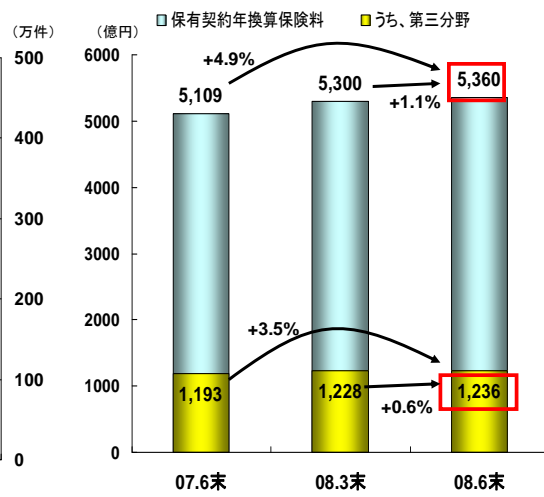
ソニー生命の業績(1)

保有契約高(個人保険+個人年金保険)



金額は千億円未満切捨て、件数は万件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

保有契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)



金額は億円未満切捨て

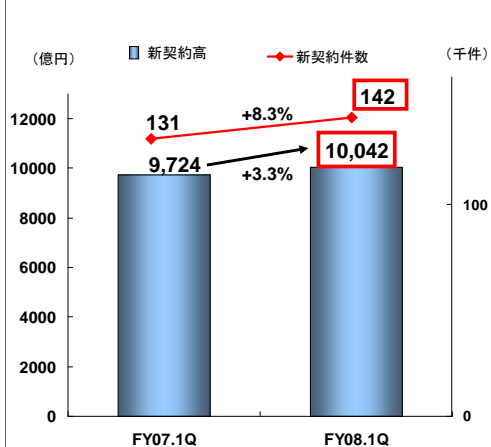
個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は堅調に推移し、前年同期末に比べ**4.1%**増加し**31兆8,322億円**となりました。

保有契約件数は前年同期末比**7.1%**増加し、**452万件**となりました。

保有契約年換算保険料は、前年同期末比**4.9%**増加し**5,360億円**となり、このうち第三分野は前年同期末比**3.5%**増加し**1,236億円**となりました。

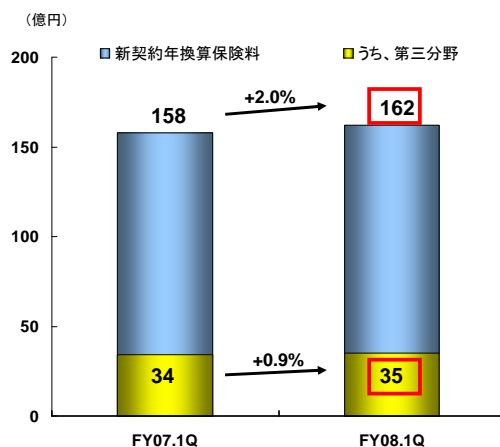
ソニー生命の業績(2)

新契約高(個人保険+個人年金保険)



金額は億円、件数は千件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

新契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)



金額は億円未満切捨て

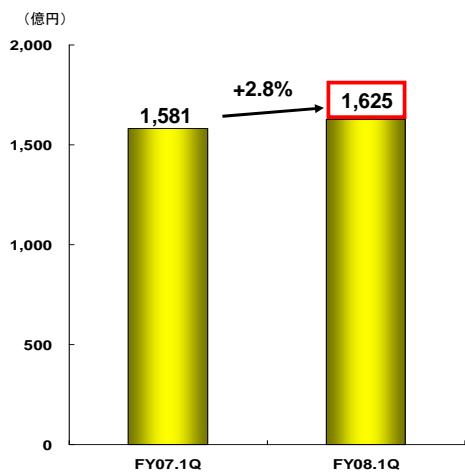
個人保険、個人年金保険を合計した新契約高は、前年同期に比べ**3.3%**増加し**1兆42億円**となり、また新契約件数も、**8.3%**増加し**14万2千件**となりました。

新契約年換算保険料は**2.0%**増加し**162億円**となり、このうち第三分野は**0.9%**増加し**35億円**となりました。

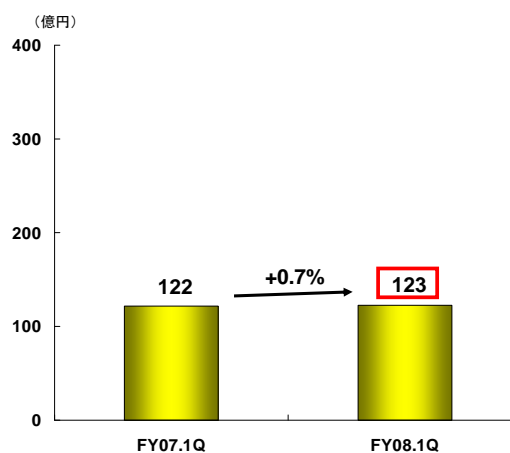
商品別では、定期保険等の死亡保障商品を中心とした販売が好調でした。

ソニー生命の業績(3)

保険料等収入



経常利益



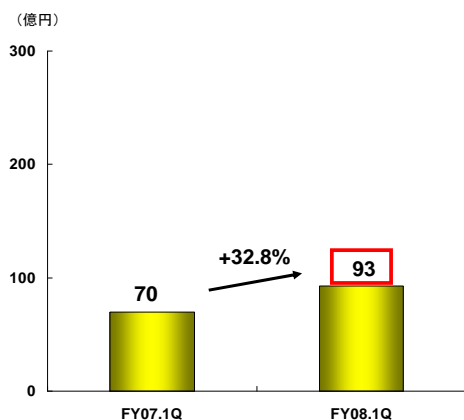
金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

保険料等収入は、保有契約高の順調な増加に伴い前年同期に比べ**2.8%**増加し**1,625**億円となりました。

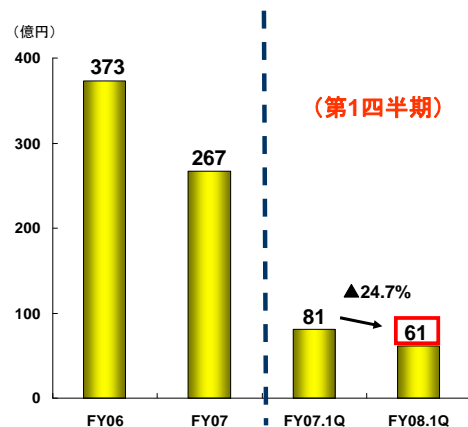
ソニー生命単体の経常利益は、先に申し上げましたとおり、保険料等収入や利息および配当金収入が増加したものの、有価証券売却益の減少により、**123**億円となり前年同期に比べ**0.7%**の微増となりました。

ソニー生命の業績(4)

基礎利益



逆ざや額



金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

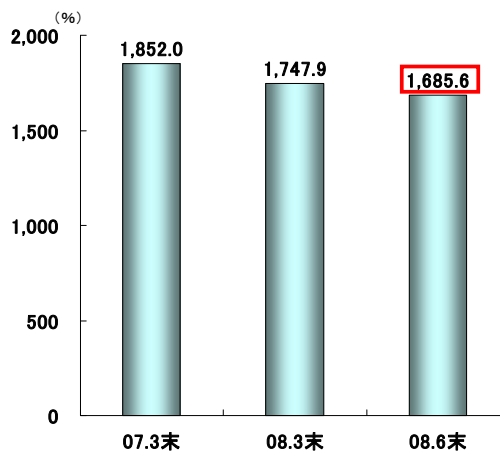
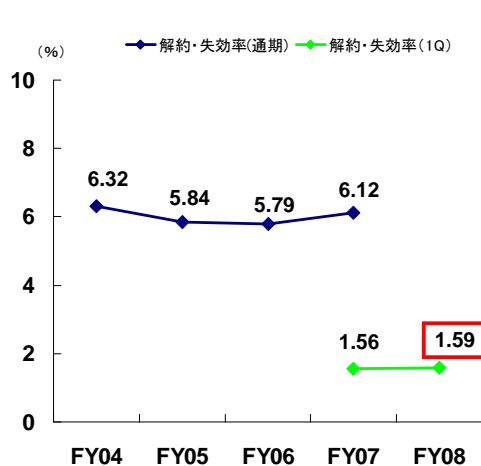
基礎利益は、保険料等収入の増加と利息および配当金収入の増加に伴い、前年同期に比べ**32.8%**増加し**93**億円となりました。

逆ざや額につきましても、利息および配当金収入の増加に伴い、前年同期に比べ**24.7%**減少し**61**億円となりました。

ソニー生命の業績(5)

解約・失効率* (個人保険+個人年金保険)
 <通期および1Q>

ソルベンシー・マージン比率



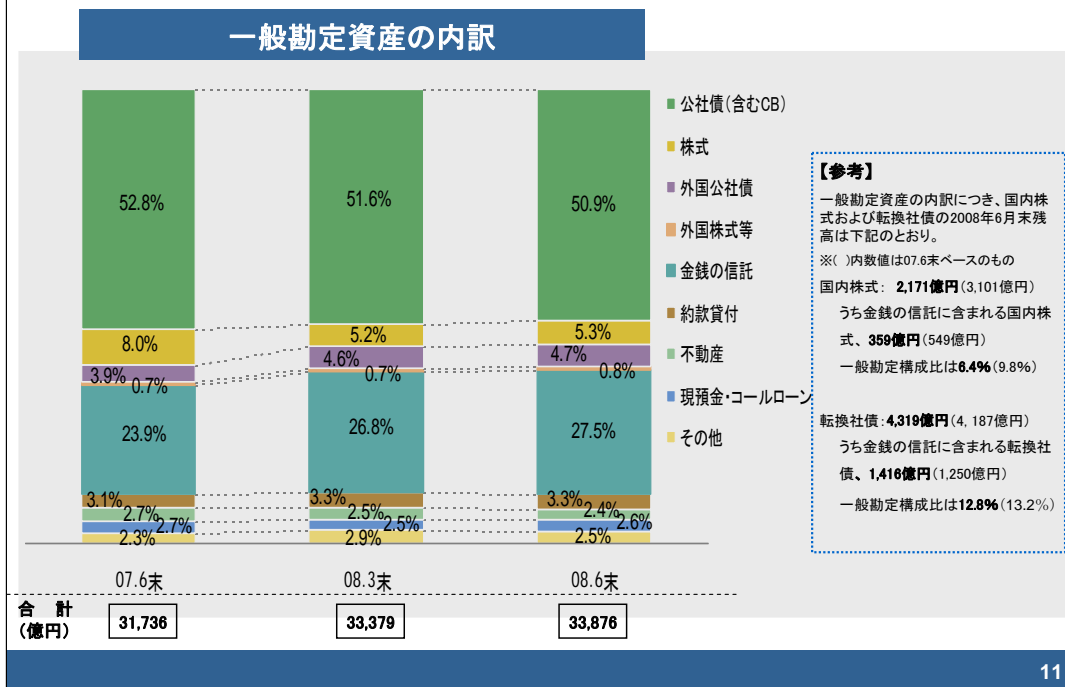
*解約・失効率は、復活契約を失効と相殺せずに出した数値です。

10

解約・失効率は、前年同期に比べ0.03ポイント上昇し1.59%となりましたが、依然として低い水準を維持しております。

ソルベンシー・マージン比率は、前年度末に比べ、62.3ポイント減少し、1,685.6%となっております。

ソニー生命の業績(6)



前年同期末および前年度末と対比した、当四半期末の一般勘定資産残高および資産構成比はご覧のとおりです。

「株式」および「公社債に含まれる転換社債」につきましては、金銭の信託に含まれる株式および転換社債と合わせた実質ベースで見ますと、株式が一般勘定資産総額の6.4%、転換社債が12.8%となっております。

ソニー生命の業績(7)

一般勘定資産の差損益

(単位:億円)

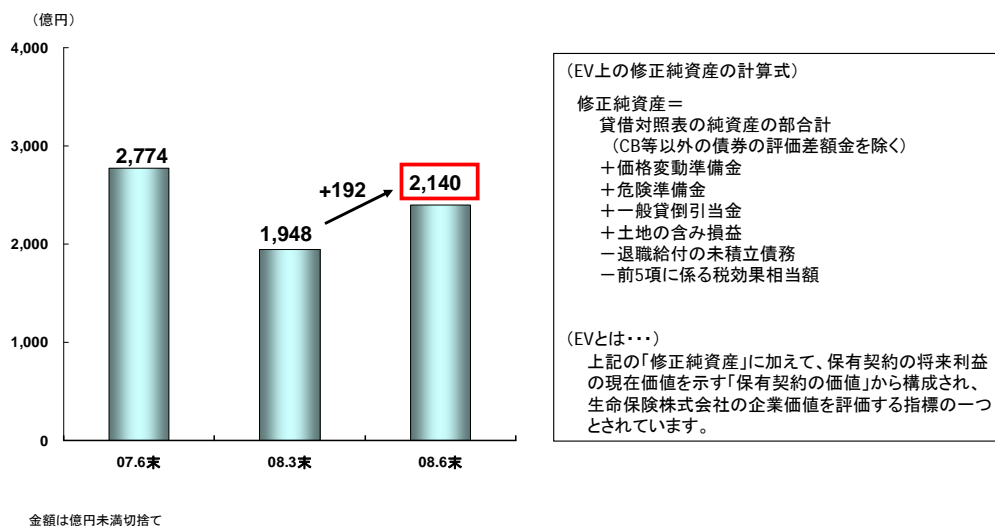
	07.6末	08.3末	08.6末	対前年度末(08.3末)比 増減額
公社債	394	834	289	▲545
株式	1,417	508	632	+123
外国証券	77	▲95	▲58	+36
その他証券	75	30	38	+8
合計	1,965	1,278	901	▲376

金額は億円未満切捨て

一般勘定資産の含み益の状況はご覧のとおりです。

ソニー生命の業績(8)

エンベディッド・バリュー(EV)上の修正純資産



エンベディッド・バリューにつきましては、当社は年に1回、年度末時点の数値を開示しております。

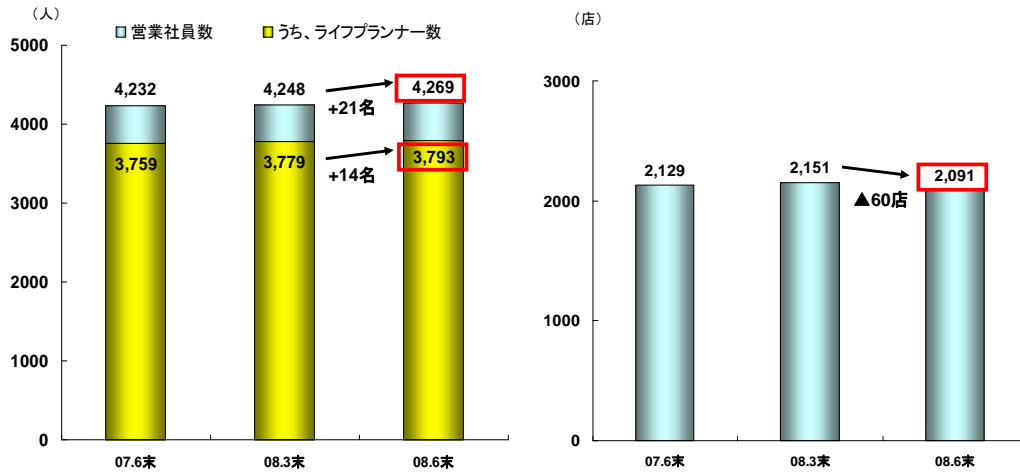
当四半期末ではその内訳を構成するエンベディッド・バリュー上の修正純資産のみを開示しておりますが、前年度末に比べ、192億円増加し2,140億円となりました。

これは5月に100億円の増資を行ったことと、株式等評価差額金の増加によるものです。

ソニー生命の業績(9)

営業社員およびライフプランナー在籍数

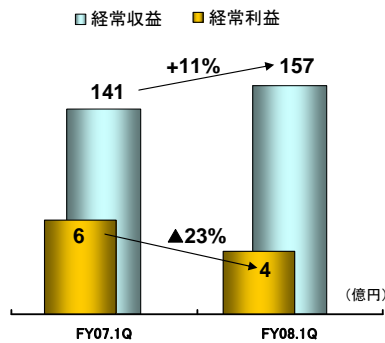
代理店数



2008年6月末時点の営業社員の在籍数は、前年度末に比べ21名増加し4,269名となり、ライフプランナーの在籍数は、14名増加し3,793名となっております。

また、代理店数は、60店減少し2,091店となっております。

ソニー損保 業績ハイライト



(億円)	FY07.1Q	FY08.1Q	前年同期比	
			増減	増減率
経常収益	141	157	+15	+11%
保険引受収益	140	155	+15	+11%
資産運用収益	1	1	+0	+13%
経常費用	135	152	+16	+13%
保険引受費用	102	114	+12	+12%
資産運用費用	-	-	-	-%
営業費及び一般管理費	32	37	+5	+15%
経常利益	6	4	▲1	▲23%
(保険引受利益)	4	3	▲1	▲35%
四半期純利益	4	2	▲1	▲34%

【ソニー損保】

- ◆前年同期比 増収減益
- ◆経常収益は11%増。主力の自動車保険の保有契約件数の増加により正味収入保険料は155億円
- ◆経常利益は、事業費の増加により前年同期を下回る
- ◆事業費率、損害率ともに前年同期より上昇し、コンバインド・レシオは、2.4ポイント上昇の75.9%

(億円)	07.6末	08.3末	08.6末
責任準備金残高	385	427	455
純資産額	137	153	156
総資産額	696	786	814

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー損保の業績ハイライトについてご説明します。

経常収益は、主力の自動車保険の好調により正味収入保険料が増加し、前年同期に比べ、11%増加の157億円となりました。

経常利益は、主に事業費の増加により、23%減少し4億円となりました。この結果、四半期純利益は34%減少の2億円となりました。

ソニー損保 主要業績指標



(単位:億円)

	FY07.1Q	FY08.1Q	増減率
元受正味保険料	139	154	+11%
正味収入保険料	139	155	+11%
正味支払保険金	60	68	+13%
正味損害率	48.6%	49.8%	1.2pt上昇
正味事業率	24.9%	26.1%	1.2pt上昇
コンバインド・レシオ	73.5%	75.9%	2.4pt上昇
保険引受利益	4	3	▲35%

※正味事業費率=保険引受に係る事業費÷正味収入保険料
 ※正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費)÷正味収入保険料

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

	07.6末	08.3末	08.6末	対前年同期末(07.6末)比	
				増減数	増減率
保有契約件数	96万件	102万件	106万件	+10万件	+10%

※保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値。
 両方で正味収入保険料の99%を占める。

16

ソニー損保の主要業績指標につきましては、このスライドに記載の通りでございます。

また、次の17ページ目のスライドには、元受正味保険料、正味収入保険料、正味支払保険金の種目別内訳を記載しておりますのでご覧下さい。

続いて、18ページ以降のスライドで詳細をご説明いたします。

ソニー損保 種目別保険引受の状況



(単位:百万円)

元受正味保険料

	FY07.1Q	FY08.1Q	増減率
火災	56	68	+22%
海上	-	-	-
傷害	1,546	1,630	+5%
自動車	12,355	13,742	+11%
自賠責	-	-	-
合計	13,958	15,441	+11%

正味収入保険料

	FY07.1Q	FY08.1Q	増減率
火災	3	3	▲3%
海上	10	9	▲8%
傷害	1,563	1,720	+10%
自動車	12,303	13,690	+11%
自賠責	113	105	▲7%
合計	13,994	15,529	+11%

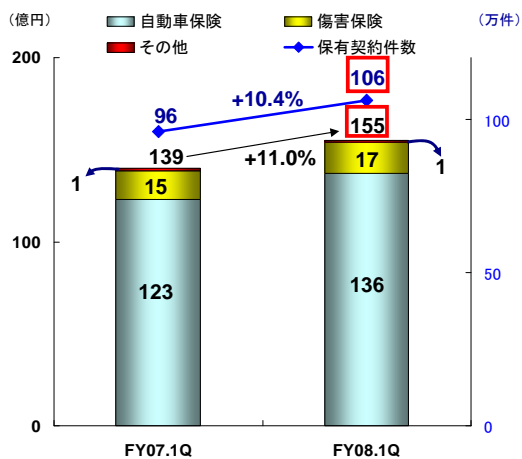
正味支払保険金

	FY07.1Q	FY08.1Q	増減率
火災	0	0	▲63%
海上	5	3	▲27%
傷害	275	303	+10%
自動車	5,681	6,436	+13%
自賠責	104	116	+11%
合計	6,067	6,859	+13%

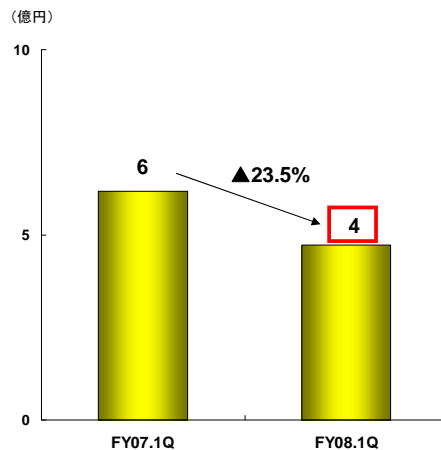
17

ソニー損保の業績(1)

正味収入保険料と保有契約件数



経常利益



保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値。両方で正味収入保険料の99%を占める。傷害保険の9割以上が、ガン重点医療保険である。
金額は億円、件数は万件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

金額は億円未満切捨て

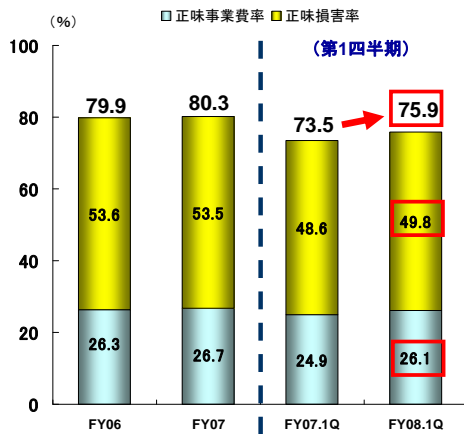
(ソニー損保の) 主な業績についてご説明いたします。

保険引受の状況につきましては、正味収入保険料は前年同期に比べ、11.0%増加し155億円となり、保有契約件数も10.4%増加し106万件と順調に増加しました。

経常利益は、先ほども申し上げましたが、事業費の増加により23.5%減少し4億円となりました。

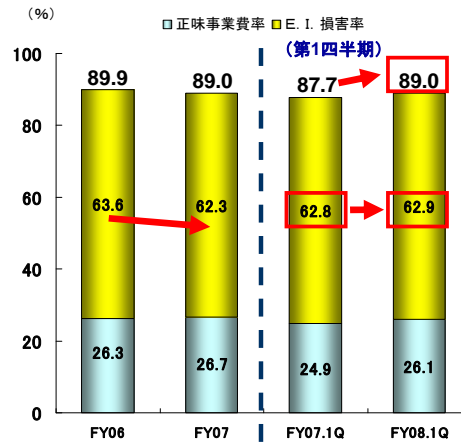
ソニー損保の業績(2)

コンバインド・レシオ (正味事業費率+正味損害率)



正味事業費率=保険引受に係る事業費÷正味収入保険料
正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費)÷正味収入保険料

正味事業費率+E.I.損害率



E.I.損害率=(正味支払保険金+支払備金積増額+損害調査費)÷既経過保険料
※除く地震保険、自賠責保険

正味損害率は損害調査費の増加もあり1.2ポイント上昇の49.8%となりました。正味事業費率は、業務の効率化を進めた一方でシステム関連費用が増加したことにより、1.2ポイント上昇の26.1%となりました。

この結果、保険引受利益は前年同期に比べ35.3%減少し3億円となり、正味事業費率と正味損害率を合わせたコンバインド・レシオは2.4ポイント上昇の75.9%となりました。

ご参考として、成長段階にあるソニー損保の実態をご理解いただくために、正味損害率を、発生ベースでみたアード(・インカード)損害率に置き換えて算定したものが右側の指標です。

アード(・インカード)損害率と正味損害率の計算式についてはスライドに記載しております。正味損害率では上昇しておりますが、支払備金積増額が減少していることから、それを加味したアード(・インカード)損害率で見ますと、前年同期とほぼ同水準で推移しております。

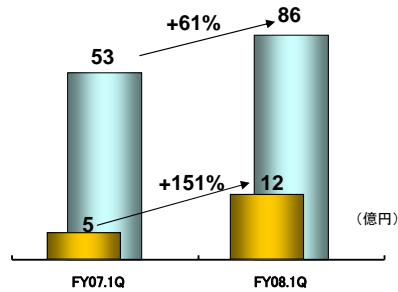
また2006年度、2007年度と比較しても大きな変動はありません。

従って、当四半期の減益は、事業費率の上昇によるものをご理解いただけたと思います。

ソニー銀行 業績ハイライト(単体)



■ 経常収益 ■ 経常利益



【ソニー銀行】

- ◆ 前年同期比 増収増益
- ◆ 業容の拡大に伴い資金運用収益やその他業務収益が増加
- ◆ 業務粗利益36億円の内訳は、資金運用収益は10億円、役員取引等収益6百万円、その他業務収益25億円。
- ◆ 四半期純利益は、前年同期比2億円増加し7億円
- ◆ 預り資産残高は前年度末比、993億円増加の1兆3,467億円

(億円)	FY07.1Q	FY08.1Q	前年同期比	
経常収益	53	86	+32	+61%
業務粗利益	24	36	+11	+45%
資金運用収益	13	10	▲2	▲17%
役員取引等収益	0.6	0.06	▲0.6	▲90%
その他業務収益	10	25	+14	+129%
営業経費	19	23	+3	+18%
経常利益	5	12	+7	+151%
四半期純利益	5	7	+2	+48%
業務純益	5	12	+7	+148%

(億円)	07.6末	08.3末	08.6末
有価証券残高	3,609	4,887	6,138
貸出金残高	3,031	3,470	3,726
預金残高	7,965	11,443	12,412
預り資産残高	9,019	12,473	13,467
純資産額	372	357	413
総資産額	8,712	12,110	13,124
自己資本比率(国内基準)(%)	11.21	9.15	10.20

金額は億円未満切捨て(役員取引等収益を除く)、増減率は四捨五入で表示

20

ソニー銀行の経常収益は、業容拡大に伴う運用資産残高の増加等により、資金運用収益やその他業務収益が増加し前年同期に比べ、60%増加し86億円となりました。

経常利益は業務粗利益の増加により前年同期に比べ、150%増加し12億円となりました。

この結果、四半期純利益は前年同期に比べ、48%増加し7億円となりました。

ソニー銀行 主要業績指標(単体)



(単位:金額は億円、口座数は千件)

	07.6末	08.3末	08.6末	対前年度末比	
				増減額・数	増減率
預り資産残高	9,019	12,473	13,467	+993	+8%
預金	7,965	11,443	12,412	+968	+8%
円預金	6,744	8,926	9,886	+960	+11%
外貨預金	1,221	2,517	2,525	+8	+0%
投資信託	1,053	1,029	1,054	+25	+2%
貸出金残高	3,031	3,470	3,726	+255	+7%
住宅ローン	2,960	3,388	3,644	+255	+8%
その他	70	81	81	▲0	▲0%
口座数	507	610	640	+30	+5%

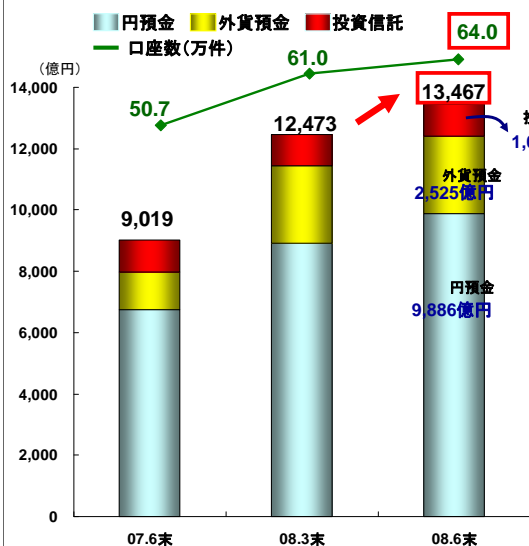
金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

21

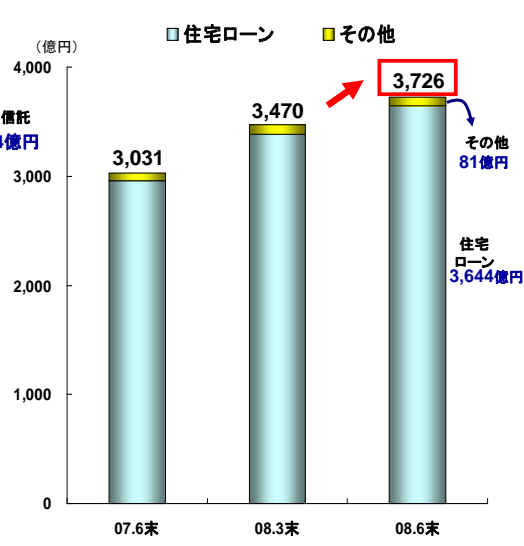
ソニー銀行の主要業績指標につきましては、このスライドのとおりでございます。
これ以降のスライドで詳細をご説明いたします。

ソニー銀行の業績(1)

預り資産残高(預金+投資信託)及び口座数



貸出金残高



金額は億円未満切捨て

まず、業容の動向についてですが、当四半期末の預金と投資信託を合わせた預り資産残高は、特に円預金の増加が貢献し、前年度末と比べて**993億円、8.0%増加し1兆3,467億円**となりました。

以下、当四半期末の残高を前年度末と比べた増減でご説明します。

預金残高は、**968億円、8.5%増加し1兆2,412億円**となりました。

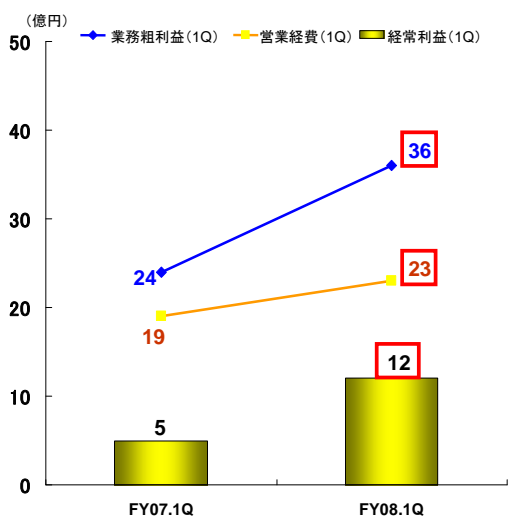
投資信託は、**25億円、2.4%増加し1,054億円**となりました。

一方、貸出金残高においては、**255億円、7.4%増加し3,726億円**と、順調に増加しております。

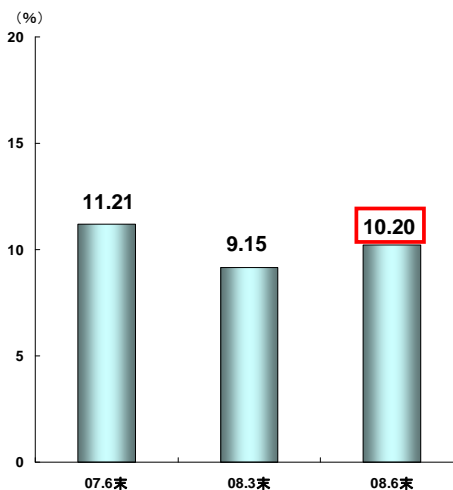
なお、口座数は**3万件増加し64万件**となりました。

ソニー銀行の業績(2)

業務粗利益・営業経費・経常利益



自己資本比率(国内基準)



*2007年度第1四半期末、同年度末および当四半期末は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準を定める件」(平成18年金融庁告示第19号)所定の基準に基づき、算出しています。

次に収益性ですが、業務粗利益は、前年同期に比べ、**45.3%**増加し**36億円**となりました。

業務粗利益の内訳ですが、預金利息の支払い増加により、資金運用収支については**16.9%**減少の**10億円**、役務取引等収支については主に証券関連手数料の減少により**90.1%**減少の**6百万円**、その他業務収支については、外貨預金の運用による外国為替売買益の増加により、**129.1%**増の**25億円**となりました。

また、自己資本比率は**10.20%**と健全な水準を維持しております。

FY08連結業績予想



(単位: 億円 / 実績値の金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示)

	FY04	FY05	FY06	FY07	FY08 (中間期予想)	FY08 (通期予想)	増減率 FY07 vs FY08(通期)
連結経常収益	6,532	7,587	7,592	8,221	4,300	8,840	+ 7.5%
うち生命保険事業	6,040	6,964	6,895	7,413	3,860	7,930	+ 7.0%
うち損害保険事業	381	457	510	556	300	598	+ 7.5%
うち銀行事業	113	172	194	259	144⇒158	307⇒330	+ 27.4%
連結経常利益	122	253	183	445	180	370	▲16.9%
うち生命保険事業	170	243	148	390	170	340	▲13.0%
うち損害保険事業	▲28	▲7	20	28	6	13	▲53.9%
うち銀行事業	▲16	22	13	24	5⇒13	13⇒20	▲16.7%
連結当期純利益	63	115	100	242	100	210	▲13.4%

<補足>

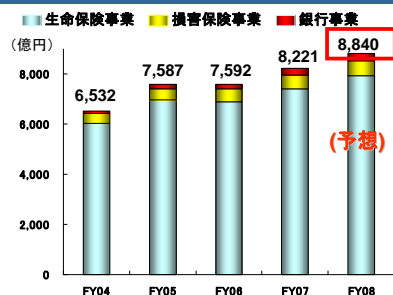
各事業ともに、業容が順調に拡大し、経常収益は増収を見込む。ただし、経常利益については、主に下記の要因により減益を見込む。

■生命保険事業
一般勘定運用利回りは、前年度を下回る見込み

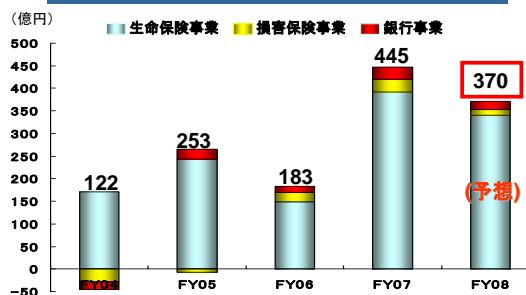
■損害保険事業
システム関連費用の増加などにより事業費率がやや上昇

■銀行事業
システム関連費用などの増加やニーバンク証券の創業赤字、のれん償却等

連結経常収益



連結経常利益



2009年3月期の連結業績予想については5月14日の発表から変更はございません。

ただいまソニーフィナンシャルホールディングスグループ3社の業績をご説明いたしましたとおり、2009年3月期の連結業績予想におきましては、3事業ともに業容が順調に拡大しておりますが、銀行事業においては当第1四半期の業績が予想を上回って推移したことなどを踏まえ、経常収益と経常利益を記載のとおり上方修正いたしました。

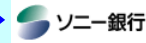
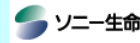
なお、グループ全体への影響は軽微と認識しており、連結業績予想の変更はいたしません。

その他トピックス

ソニー生命におけるソニー銀行の銀行代理業に関する許認可を取得

■銀行代理業務の取り扱い開始日：2008年1月16日

■取り扱い商品・サービス



1. ライフプランナーによる、ソニー銀行の住宅ローンの商品説明および申込書の交付
⇒ライフプランナー経由の取扱いは順調に増えており、新規融資実行金額全体に対して約30%を占める。
2. 「Life Planning SQUARE」(銀座ソニービル)における、ソニー銀行の口座開設業務

<2008年度第1四半期以降の主な取り組み>

- 2008年4月21日 ソニー銀行、「あなたのCO₂、投信でオフセット」対象ファンドの取り扱いを開始
- 2008年4月23日 SFH、ソニー銀行の株主割当増資を引受け
- 2008年4月28日 ソニー損保、銀行のウェブサイト自動車保険販売を開始
- 2008年5月12日 ソニー銀行、「外国為替証拠金取引」の取り扱いを開始
- 2008年5月23日 SFH、ソニー生命保険の株主割当増資を引受け
- 2008年7月1日 ソニー損保、札幌事故受付サービスセンターの新設
- 2008年7月30日 ソニー銀行、液晶テレビ「BRAVIA<ブラビア>」搭載の情報配信機能「アプリキャスト」を通じたソニーバンク外国為替レートの配信を開始
- 2008年8月1日 ソニー銀行、ソニー銀行とセブン銀行による銀行代理業務提携を開始
- 2008年8月4日 ソニー銀行、投資信託販売手数料体系の改定と「積み立てプラン」販売手数料還元制度を開始

最後に、当グループのシナジーの一例として、ライフプランナー経由によるソニー銀行の住宅ローンの取り扱い状況についてご報告いたします。

ライフプランナーの紹介による住宅ローンの新規融資実行金額の割合は全体の約30%です。

お客様のライフプランニングをおこなう上で、住宅購入資金に関するご要望やご相談に、ライフプランナーがより具体的に応じられるようになった結果が表れたものと考えています。



お問い合わせ先:

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社 広報・IR部
TEL:03-5785-1074

ソニー生命保険株式会社 広報部
TEL:03-3475-8813

ソニー損害保険株式会社 広報部
TEL:03-5744-0330

ソニー銀行株式会社 経営企画部 広報担当
TEL:03-6230-5903

※グループ連結の決算・業績などに関するお問合せはソニーフィナンシャルホールディングスへ、一般および報道関係からの方からの
お問合せで、個別各社の事業に関することは各社広報窓口までお願いいたします

お問い合わせ先